

## 令和5年度 古賀市立古賀東中学校 学校経営要綱

教育理念

共に学び合い 共に支え合い 共に鍛える

校訓

「自主」「創造」「敬愛」

## 1 学校経営の基盤

## (1) 公教育としての学校〔法令遵守〕

日本国憲法、教育基本法、学校教育法をはじめとする教育関係諸法規、教育振興基本計画の方針、古賀市学校教育推進施策、並びに学習指導要領を基盤とする。

## (2) 現代社会の要請に応える学校〔社会的責任〕

国が示す教育振興基本計画の方針を踏まえ、主体的にたくましく生きる力を育成するとともに、我が国の伝統と文化を尊重し、国際社会に生きる資質を養う。

## (3) 保護者や地域の願いに応える学校〔状況把握〕

福岡県教育施策及び古賀市教育行政の目標と主要課題に則り、現在と未来を考え、生徒や保護者、地域及び学校の実態に即したものにす。

## (4) 信頼される学校〔顧客満足〕

中立性を確保し、公共性、公益性をめざして、生徒の学力と進路の権利を保障し、保護者や地域と連携・協働する。

## (5) 人権教育を推進する学校〔自他尊重〕

福岡県人権教育啓発基本指針、学校教育における人権に関する指導上の指針、古賀市人権施策基本指針に基づいて人権教育を推進する。

## 2 学校の教育目標【開校当時から継続】

## 『志を持って自ら意欲的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成』

人工知能の登場や近年の新型コロナウイルス感染症拡大も相まって、社会は加速度的に変化している。社会生活に正解がなくなってきている中、子どもたちが現在と未来に向けて、たくましく生き抜く力を培うことが学校教育に求められている。そのため、主体性をもって多様な人々と協働して新しい価値を生み出したり、未知の問題を解決したりして、自ら研鑽に励んで「社会の変化に対応できる」人材を育てることを基本理念としたのが、この教育目標である。

## ○「志を持つ」生徒

社会における課題を見据え、多くの人々と協働して問題解決のために貢献しようと自己を鍛え、主体的、対話的な学びを創造していく生徒を育てる。

## ○「自ら意欲的に学ぶ」生徒

将来の夢や目標を実現するために、課題を見つけ、解決に向けた力を自身で生み出し、主体的に努力し続ける生徒を育てる。

## ○「心豊かにたくましく生きる」生徒

優しさや厳しさ、真理を求める心、自然を愛する心をもって、変化の激しい社会の中でも挑戦し、仲間と切磋琢磨して夢や目標に向かって生き抜く行動がとれる生徒を育てる。

### 3 めざす具体像

#### (1) めざす学校像

- 〔自主〕 生徒が主体的に活動できる楽しい学校
- 〔創造〕 豊かな教育活動が創造できる学校
- 〔敬愛〕 保護者・地域から任せられる学校

#### (2) めざす生徒像

- 〔自主〕 決めた目標に向かって、能動的に取り組む生徒
- 〔創造〕 自ら考え、判断し、決断して行動していく生徒
- 〔敬愛〕 自他を大切に、自己実現に向かっていく生徒

#### (3) めざす教師像

- 〔自主〕 主体的に判断し、迅速に動くことができる教師
- 〔創造〕 創造的なアイデアを生み出すことができる教師
- 〔敬愛〕 生徒ファーストをめざして議論ができる教師

#### (4) めざす授業像

- 〔自主〕 わかる・できるを実感して、自ら課題解決できる授業
- 〔創造〕 自他の考えを交流して、新たな考えを広げる授業
- 〔敬愛〕 多面的・多角的に事象を捉えて課題を解決する授業

#### (5) めざす家庭・地域との連携

- 〔自主〕 基本的な生活習慣・学習習慣の定着に協力する家庭・地域
- 〔創造〕 本校の教育を理解し、協働して子育てする家庭・地域
- 〔敬愛〕 社会をよりよく生きる価値に寄り添っていく家庭・地域

### 4 本校の教育課題と経営課題

#### (1) 教育課題

- ① 主体的に考え、自分の考えをもって学びを深める。
- ② 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る。
- ③ 自己有用感を自覚し、自尊感情を高くもって粘り強く行動する。
- ④ 自他を大切にする人権意識の醸成を図る。

#### (2) 経営課題

- ① 家庭・地域との連携・協働の構築を図る。
- ② 学校組織としてのラインの連携強化を図る。
- ③ 教職員のキャリアステージに見合う指導力向上を図る。
- ④ 特別支援教育の視点をもった教育活動の推進を図る。

### 5 経営の重点

- ① 基礎・基本の確実な定着による学力の向上〔認知能力の育成〕
- ② 自律した行動力の向上〔非認知能力の育成〕
- ③ 主任主事の見通しのある効率的な業務改善
- ④ 生徒の思考をはたらかせる授業力の向上
- ⑤ 校内OJTによる人材育成の推進
- ⑥ 特別支援教育・生徒支援の充実

### 6 経営の方針

- (1) 異年齢集団による学びをとおして、非認知能力の育成を追求する。
- (2) 積極的な生徒指導の実践で、粘り強く取り組ませる指導を追求する。
- (3) 働き方改革と人材育成を踏まえて、仕事のやりがいと働きやすさを追求する。

学びのローガン 「学び合い 鍛え合い 励まし合い 讃え合う」  
経営のコンセプト 「花と笑顔があふれる あたたかい学校」  
東風魂四訓の意識化 「あいさつ」「感謝の心」「時間厳守」「環境美化」

## 7 本年度の重点目標

### 『協働的に学び、自他の心を大切にして、粘り強く取り組む生徒の育成』

本校は、「日本一あたたかい学校」を目標に掲げ、これまで築きあげてきた「東風魂四訓」を学校生活の基盤として取り組んできた。異年齢集団活動であるブロック制の教育活動やコーチングによる生徒指導を実施してきた結果、生徒も教師も「日本一あたたかい学校」に向けての意識を高くもち、生徒自ら気づいたことを話し合い、考えた行動が見られるようになって、生徒たちの手による自治的な活動を重視した実践を積み重ねてきている。しかし一方で、学習課題に粘り強く取り組むことが難しい生徒が多数いることも否めない。困難な状況にも諦めることなく社会の変化に対応して果敢に挑戦するためには、主体的に学び続けることができるようにしていく必要がある。

昨年度は、職員個々の指導力向上を図るために、主題研究による授業改善や校内 OJT による研修会を実施して、「生徒たちが自信をもって取り組むことができる」指導にあたってきた。また、2年間のコロナ禍による制限された教育活動は、形式を変えて工夫することによって実施することができた。経験がない3年生が1・2年生率いて様々な行事の取り組みを成功させたことは生徒たちの自信となり、生徒たちが自発的に考えて活動する上級生の姿に憧れ、受け継がれていくものと感じる。

本年度は、さらに生徒たちの良さを生かして、目標の共有・達成のために協働した教育活動を展開していく。そのため、教師力向上を図りながら、教育活動の基盤として「人権・同和教育」を推進し、自分や他が大切にされていることを実感できる環境をつくる。その上で、「異年齢集団によるブロック制の活動」「主体的に思考をはたらかせる積極的な生徒指導」「基礎・基本の確実な定着による学力の向上」を3つの柱として教育活動を推進する。

「正しい価値観で行動できる」集団、「目標に向かって粘り強くやり抜く」集団に育て、いきいきと学びを楽しみ、安心できる「日本一あたたかい学校」の構築に邁進する。

## 8 重点目標達成のための方策

### 方策1【授業づくり】

- ① 自己決定の場を提供する授業づくりの推進
- ② 意図的・計画的な道徳授業・特別活動の実践
- ③ 異年齢集団活動による自治活動の活性化
- ④ 四分位層 C・D 層に対応する学習支援

### 方策2【環境づくり】

- ① 協働的な学びが見える掲示物の充実
- ② 率先垂範・師弟同行・凡事徹底を実践する教職員
- ③ 安心して安全な居場所づくり（心的・物的）
- ④ キャリアパスポートの累積と生徒会活動の充実

### 方策3【組織づくり】

- ① 主任主事による見通しをもった業務
- ② 小中連携とコミュニティ・スクール連携の取組
- ③ 迅速な報告・連絡・相談ラインの確立
- ④ 育成ステージに対応する研修の充実

## 9 古賀市全小・中学校共通の取組実践の推進

- (1) 全国学力・学習状況調査や県学力調査結果を生かした主体的・対話的な深い学び(授業)の改善
- (2) 気になる生徒を中心とした合理的配慮のある「個別の支援・指導計画」の作成
- (3) 35人以下学級編成を生かした、合理的配慮が見える授業の実践
- (4) 古賀市部活動指針に則った、部活動の徹底
- (5) 健やかな子どもを育成する授業中の「立腰」の徹底
- (6) 昼休みにおける運動場での遊びの継続化
- (7) 体育授業における補強運動の徹底

令和5年度 古賀市立古賀東中学校 経営構想

国・県・市の要請

保護者や地域の願い

教育の動向

学校教育目標

『志を持って自ら意欲的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成』

めざす生徒像

- [自主] 決めた目標に向かって、能動的に取り組む生徒
- [創造] 自ら考え、判断し、決断して行動していく生徒
- [敬愛] 自他を大切にし、自己実現に向かっていく生徒

めざす学校像

- [自主] 生徒が主体的に活動できる楽しい学校
- [創造] 豊かな教育活動が創造できる学校
- [敬愛] 保護者・地域から任せられる学校

めざす教師像

- [自主] 主体的に判断し、迅速に動くことができる教師
- [創造] 創造的なアイデアを生み出すことができる教師
- [敬愛] 生徒ファーストをめざして議論ができる教師

本年度の重点目標

『協働的に学び、自他の心を大切にして、粘り強く取り組む生徒の育成』

教育課題

- ① 主体的に考え、自分の考えをもって学びを深める。
- ② 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る。
- ③ 自己有用感を自覚し、自尊感情を高くもって粘り強く行動する。
- ④ 自他を大切にす人権意識の醸成を図る。

経営課題

- ① 家庭・地域との連携・協働の構築を図る。
- ② 学校組織としてのラインの連携強化を図る。
- ③ 教職員のキャリアステージに見合う指導力向上を図る。
- ④ 特別支援教育の視点をもった教育活動の推進を図る。

成果指標

学力向上

- 全国・県学力調査
- C・D層四割以下
- 標準化点数
- 九ポイント向上

自律力向上

- 行事後生徒アンケート
- 満足度九割以上
- 不登校出現率
- 前年比八割以下

方策1【授業づくり】

- ① 自己決定の場を提供する授業づくりの推進
- ② 意図的・計画的な道徳授業・特別活動の実践
- ③ 異年齢集団活動による自治活動の活性化
- ④ 四分位層 C・D 層に対応する学習支援

方策2【環境づくり】

- ① 協働的な学びが見える掲示物の充実
- ② 率先垂範・師弟同行・凡事徹底を実践する教職員
- ③ 安心して安全な居場所づくり（心的・物的）
- ④ キャリアパスポートの累積と生徒会活動の充実

方策3【組織づくり】

- ① 主任主事による見通しをもった業務
- ② 小中連携とコミュニティ・スクール連携の取組
- ③ 迅速な報告・連絡・相談ラインの確立
- ④ 育成ステージに対応する研修の充実

- 異年齢集団による非認知能力の育成
- 粘り強く取り組む認知能力の育成
- 積極的な生徒指導の実践
- 働き方改革と人材育成の推進

- 東風魂四訓
- あいさつ
  - 感謝の心
  - 時間厳守
  - 環境美化

□教育活動の基盤となる人権・同和教育の充実